

子ども食堂運営者向け 発達障害基礎講座

～ 子どもの居場所作りを進める上で
押さえておきたい子どもの発達障害の基礎知識 ～

2019. 6.15 (土) 15:00~17:00

主催：川口子ども食堂

NPO 法人チャイルドギフト

1. 主催者からのあいさつより

子ども食堂に参加している子どもの約8割が何らかの障害を持っているように感じている。時にトラブルなどが起こることもあり、そのような時どのように対応していったらいいのかということをおの子ども食堂運営者とも話すことがある。

今回はその課題を考える機会をもち、今後も情報共有をしていけたらと思い開催した。

2. 講座内容

- ・発達障害がある子は、社会性やコミュニケーションが苦手な場合が多い。そのために他者との関係で問題を起こしやすい。

- ・問題が起きてしまう前や起きてしまった場合に、クールダウンをするスペースがあるとよい。

- ・クールダウンスペースのために別室を確保できなくても、部屋の隅を利用して衝立などで仕切るなどでよい。

- ・感情がコントロール出来ず、物を投げることもあるので周りには物を置かないように配慮する。

- ・当事者の子どもに話す時は、短くテンポよく伝える方がいい。(長々と説明すると気が散りやすいので)

- ・他の子どもには隠す必要はない。苦手なことがある、努力しても出来ないことがあるというようにありのままに伝える方がいい。(こだわりとわがままの区別をする)

3. 質問より

- ・発達障害当事者としての自分は何ができるのか

 - ・・・当事者にしかわからないことや特性を活かせる

- ・家族に当事者がいるが、どう接したらいいのか

 - ・・・そのままを認めてあげるようにする。(難しいけれど) 本人はしようと努力しても出来ないことがある。